

愛西市の高齢者を取り巻く現状

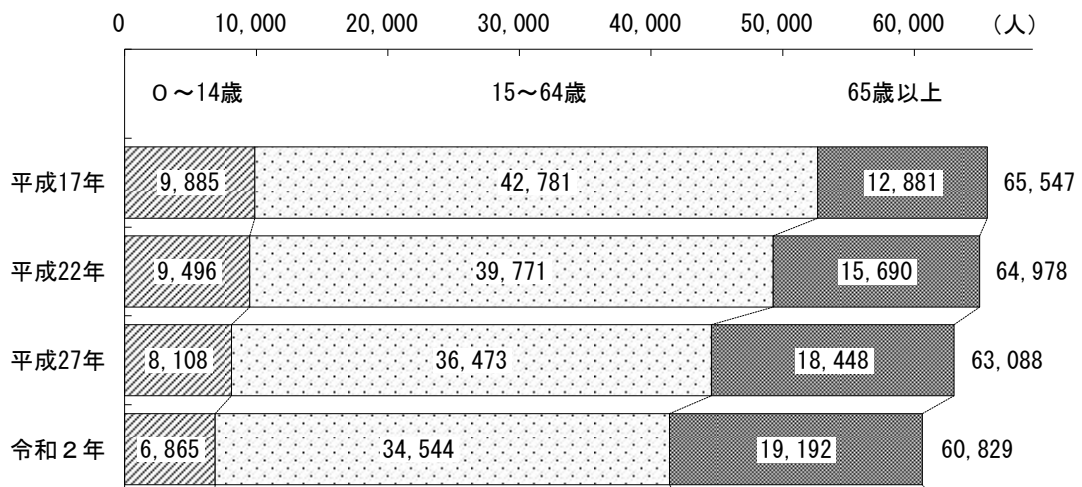
1 高齢者等の状況

(1) 人口の推移

2005（平成17）年から2020（令和2）年にかけて、本市の総人口は減少を続けており、2020（令和2）年現在、60,829人です。

年齢区分別にみると、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少を続けているのに対し、高齢者人口（65歳以上）は増加し、約1.5倍となっています。

図表1 人口の推移



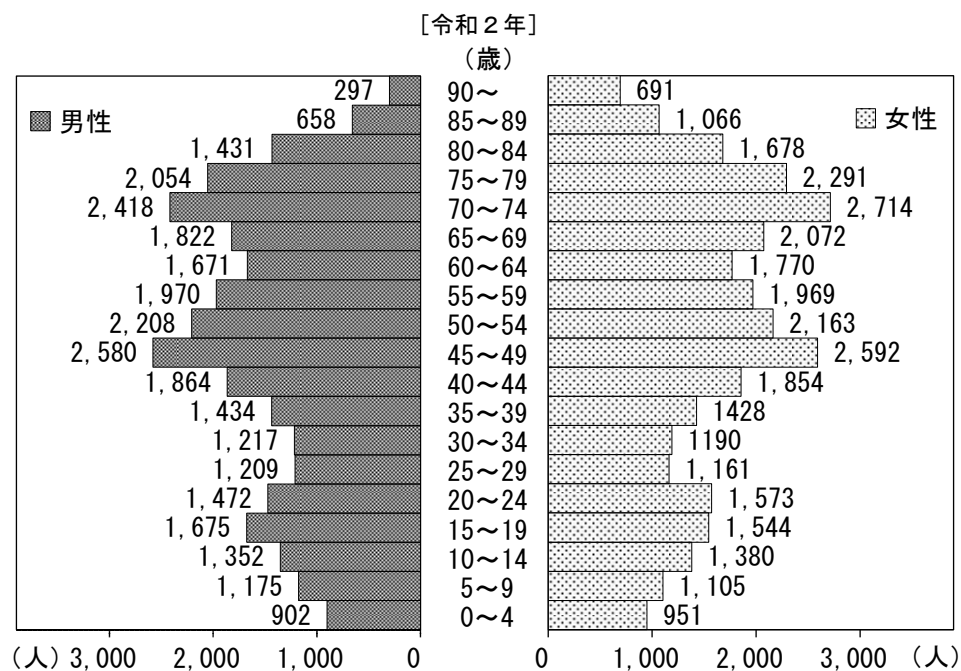
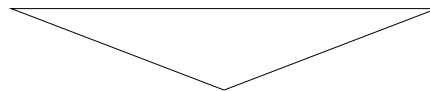
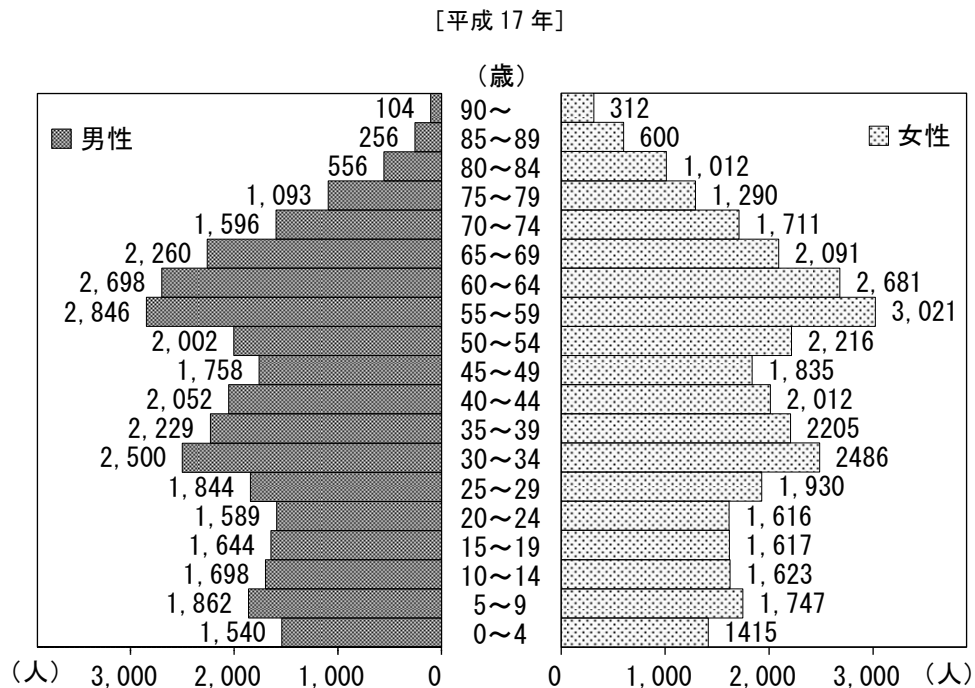
注：平成17～令和2年の総人口には年齢不詳が含まれます。

資料：国勢調査

(2) 人口ピラミッド

2005（平成17）年と2020（令和2）年の男女別5歳階級別人口（人口ピラミッド）をみると、2020（令和2）年は年少人口の減少と高齢者人口の増加により、ピラミッドの下部が狭く、上部が広い不安定な形になっています。

図表2 人口ピラミッド



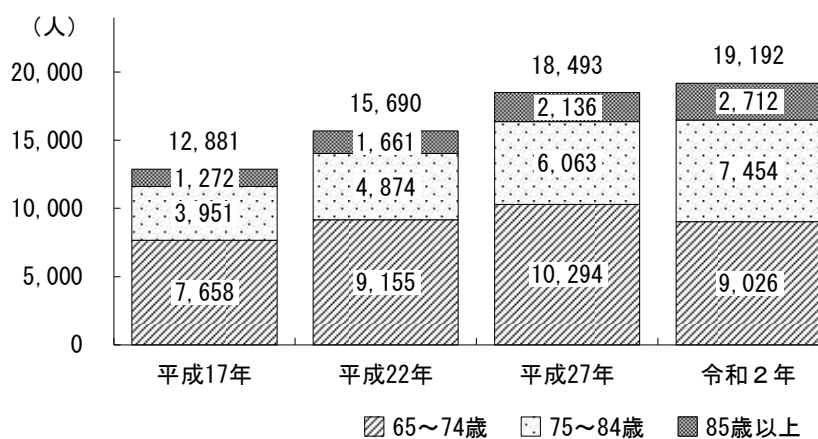
資料：国勢調査

(3) 高齢者人口の推移

本市の高齢者人口は、2005（平成17）年以降、増加を続けており、2020（令和2）年現在、19,192人です。65～74歳の前期高齢者が9,026人、75歳以上の後期高齢者が10,166人となっています。また、65～74歳人口は、2005（平成17）年から2015（平成27）年にかけて増加を続けていましたが、2020（令和2）年には減少しています。その一方で、介護リスクの高い75歳以上人口は2005（平成17）年から2020（令和2）年にかけて4,943人増加し、約1.9倍となっており、2020（令和2）年には後期高齢者が前期高齢者を上回りました。（図表3）

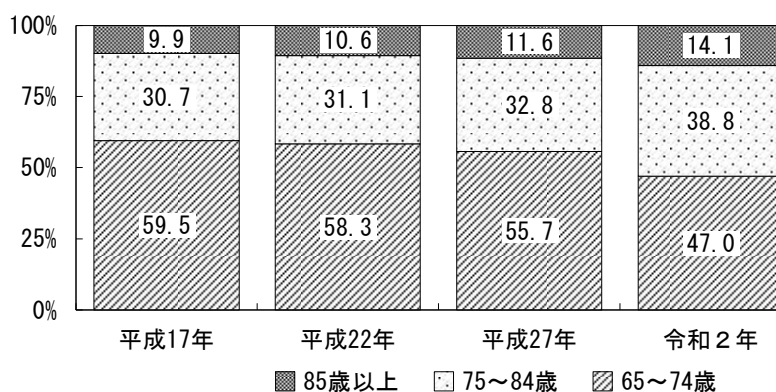
2005（平成17）年以降の65歳以上人口の構成比の推移をみると、長寿化の進展にともない、前期高齢者の占める比率が低下し、後期高齢者の比率が高くなっています。（図表4）

図表3 高齢者人口の推移



資料：国勢調査

図表4 高齢者の構成比の推移



資料：国勢調査

(4) 高齢化率・後期高齢化率の推移

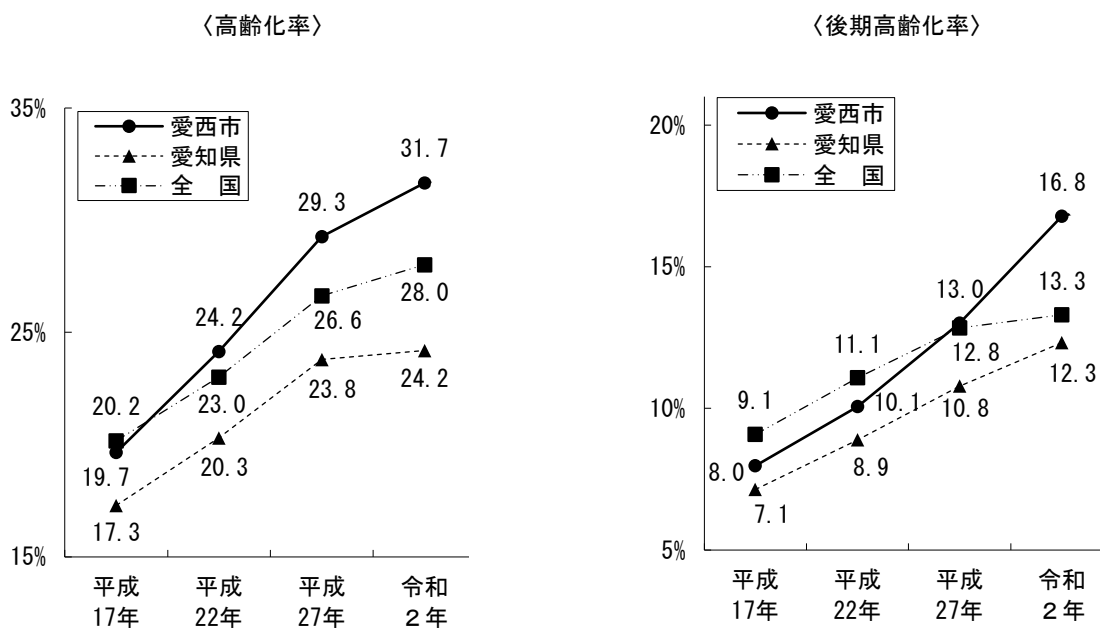
本市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、2020（令和2）年現在、31.7%となっており、市民の約3人に1人が高齢者です。

国勢調査の結果から、愛知県・全国と比較すると、本市は2010（平成22）年以降、愛知県及び全国を上回って推移しており、2020（令和2）年現在、愛知県よりも7.5ポイント、全国よりも3.7ポイント高くなっています。

また、本市の後期高齢化率（総人口に占める75歳以上の割合）は、2020（令和2）年現在、16.8%です。

国勢調査の結果から、愛知県・全国と比較すると、2005（平成17）年から2010（平成22）年にかけては愛知県よりも高く、全国よりも低い率で推移していましたが、2015（平成27）年には全国を上回り、その後、愛知県及び全国との差は広がっています。

図表5 高齢化率・後期高齢化率の推移



資料：国勢調査

2 世帯の現状

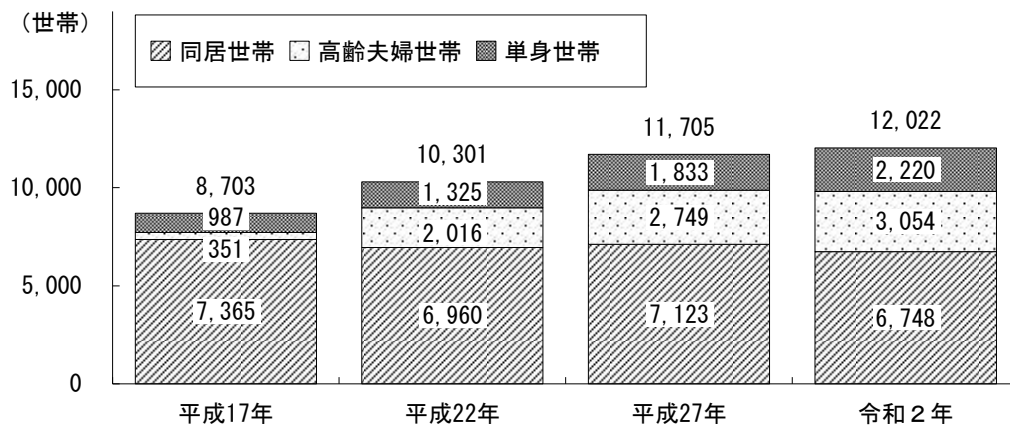
(1) 高齢者のいる世帯の推移

65歳以上の高齢者がいる世帯は、2020（令和2）年現在、12,022世帯となっており、2005（平成17）年から2020（令和2）年の15年間で3,319世帯増加し、約1.4倍となっています。世帯類型別にみると、高齢者の単身世帯及び高齢夫婦世帯（夫65歳以上、妻65歳以上の夫婦1組の一般世帯）は増加を続けています。（図表6）

世帯の構成比をみると、2005（平成17）年以降、同居世帯は低下を続けているのに対し、高齢夫婦世帯及び単身世帯は上昇しています。（図表7）

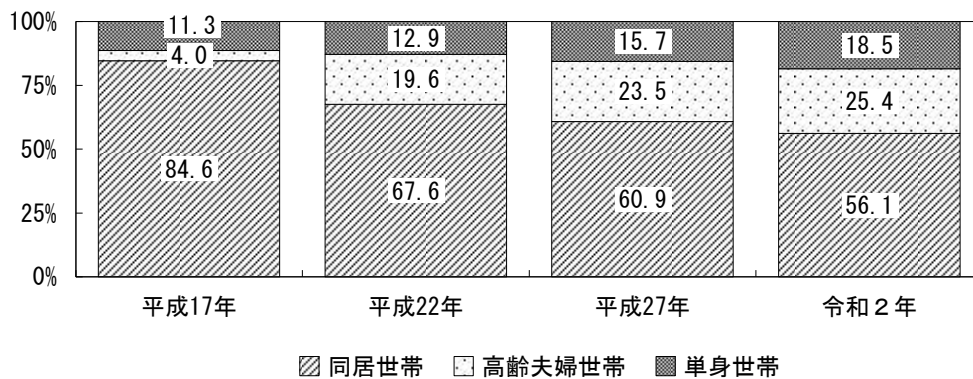
また、愛知県・全国と比較すると、同居世帯の比率が高く、単身世帯の比率が低くなっています。（図表8）

図表6 高齢者のいる世帯の推移



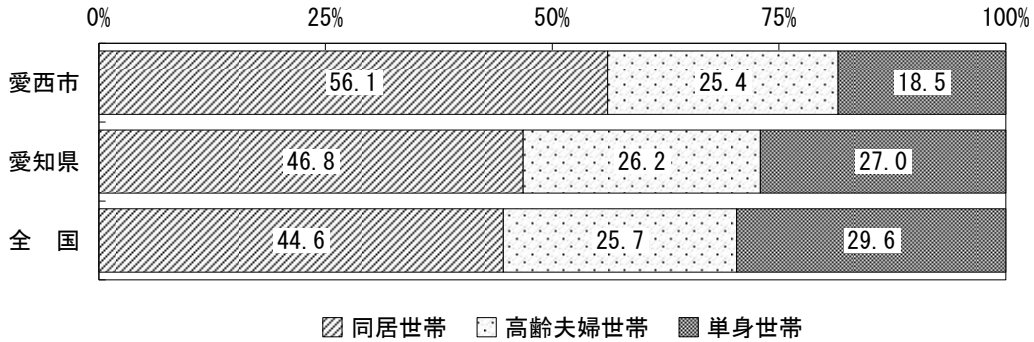
資料：国勢調査

図表7 高齢者のいる世帯の類型割合の推移



資料：国勢調査

図表 8 高齢者のいる世帯の類型割合の推移（全国・愛知県との比較）



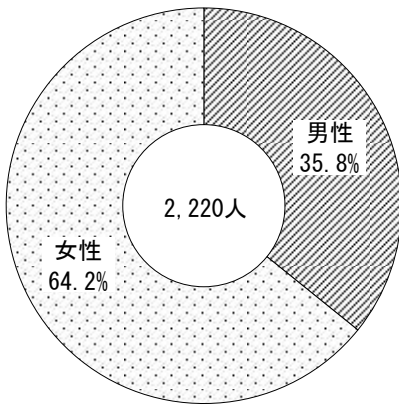
資料：国勢調査（令和2年）

(2) 高齢者の単身世帯

高齢の単身世帯は女性が64.2%を占めています。（図表9）

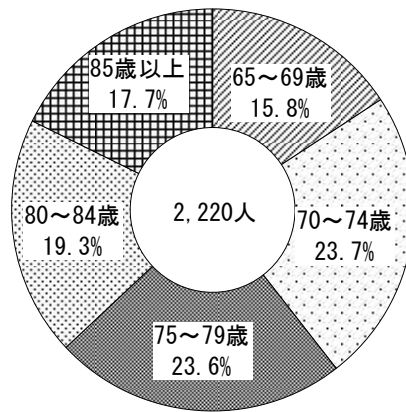
また、高齢の単身世帯を年齢別にみると、75歳以上が60%以上を占めています。（図表10）

図表 9 性別の高齢者単身世帯



資料：国勢調査（令和2年）

図表 10 年齢別の高齢者単身世帯



資料：国勢調査（令和2年）

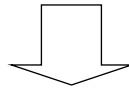
(3) 高齢夫婦世帯

高齢夫婦世帯をみると、夫婦ともに75歳以上の世帯が1,124世帯（36.8%）あります。

図表11 高齢夫婦世帯

単位：世帯

区 分		妻 の 年 齢					計
		65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	
夫 の 年 齢	65～69 歳	267	29	3	1	-	300
	70～74 歳	466	462	29	3	1	961
	75～79 歳	54	544	326	31	2	957
	80～84 歳	2	67	358	151	9	587
	85 歳以上	-	2	40	115	92	249
	計	789	1,104	756	301	104	3,054



区 分		妻の年齢		
		65～74 歳	75 歳以上	計
夫 の 年 齢	65～74 歳	1,224 (40.1%)	37 (1.2%)	1,261 (41.3%)
	75 歳以上	669 (21.9%)	1,124 (36.8%)	1,793 (58.7%)
	計	1,893 (62.0%)	1,161 (38.0%)	3,054 (100%)

資料：国勢調査（令和2年）

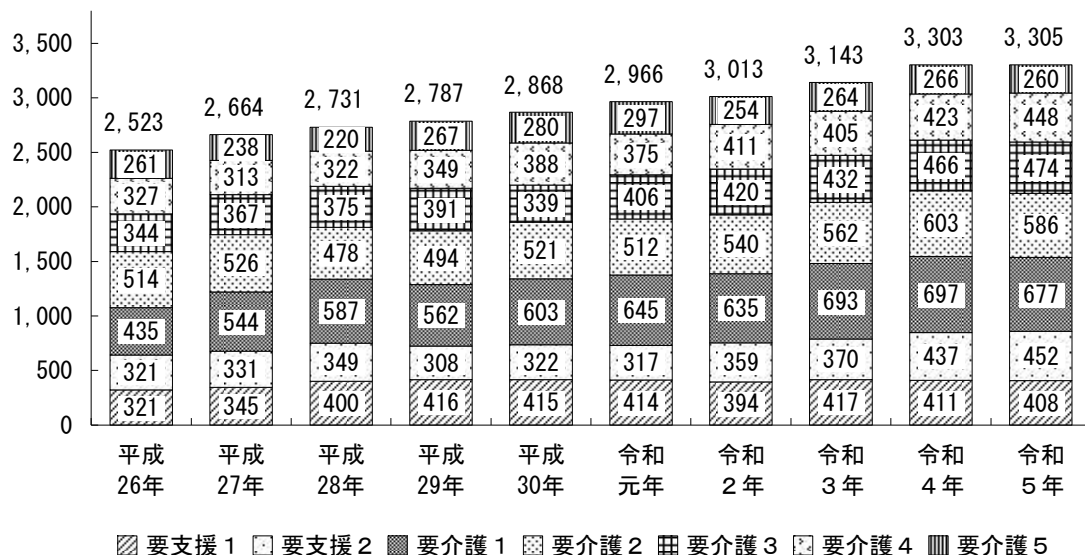
3 要支援・要介護認定者の状況

(1) 要支援・要介護認定者の推移

「介護保険事業状況報告 月報」(厚生労働省)によると、本市の要支援・要介護認定者数は2023(令和5)年現在、3,305人となっており、2014(平成26)年から2023(令和5)年にかけて782人増加し、約1.3倍となっています。(図表12)

2023(令和5)年2月末現在の認定者をみると、第1号被保険者の認定者は3,245人、第1号被保険者の16.9%にあたります。なお75歳以上の認定者の割合は26.5%と4人に1人以上が認定者です。さらに、85歳以上になると、認定者の割合は53.5%と、半数以上が認定者となります。(図表13)

図表12 要支援・要介護認定者数の推移



資料：介護保険事業状況報告(平成26～令和4年は9月末現在、令和5年は2月末現在)

図表13 要支援・要介護認定者数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	399	444	668	577	460	445	252	3,245
	2.1%	2.3%	3.5%	3.0%	2.4%	2.3%	1.3%	16.9%
65～74歳	41	54	52	54	38	26	32	297
	0.5%	0.7%	0.6%	0.7%	0.5%	0.3%	0.4%	3.7%
75歳以上	358	390	616	523	422	419	220	2,948
	3.2%	3.5%	5.5%	4.7%	3.8%	3.8%	2.0%	26.5%
85歳以上	170	205	348	314	257	255	136	1,685
	5.4%	6.5%	11.0%	10.0%	8.2%	8.1%	4.3%	53.5%
第2号被保険者	9	8	9	9	14	3	8	60

注：下段は各人口に対する割合

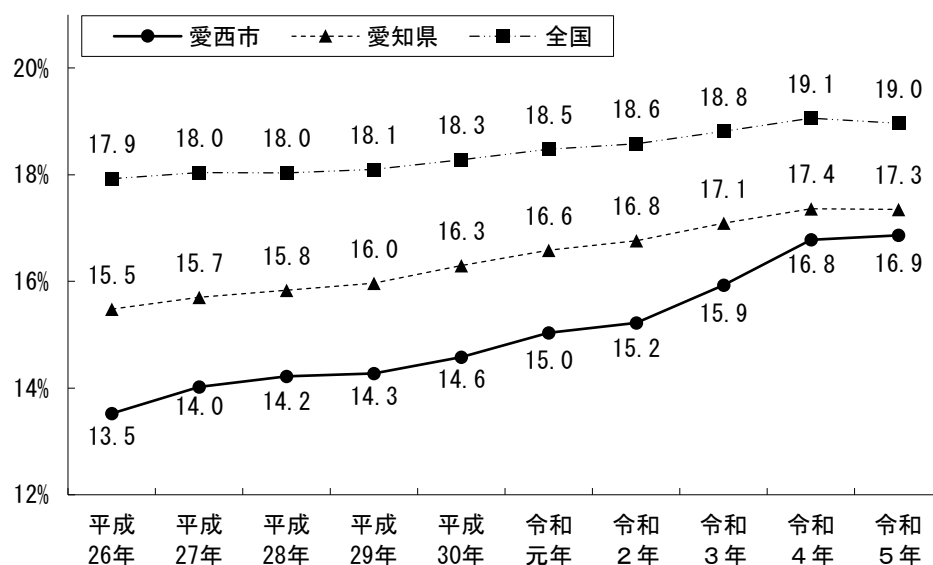
(第1号被保険者：19,242人、65～74歳：8,108人、75歳以上：11,134人(うち85歳以上：3,151人))

資料：介護保険事業状況報告(令和5年2月末現在)

(2) 要支援・要介護認定率の推移

本市の要支援・要介護認定率（第1号被保険者に占める認定者の割合）は、2023（令和5）年2月末現在、16.9%となっています。愛知県・全国と比較すると、愛知県よりも0.4ポイント、全国よりも1.7ポイント低くなっています。平成26年以降、本市の認定率は愛知県及び全国よりも低い率で推移しているものの、その差は確実に狭くなっています。（図表14）

図表14 要支援・要介護認定率



注：要支援・要介護認定率＝第1号認定者数／第1号被保険者数×100

資料：介護保険事業状況報告（平成26～令和4年は9月末現在、令和5年は2月末現在）

4 介護保険給付費

(1) 第1号被保険者1人当たり給付月額

本市における第1号被保険者1人当たりの給付月額をみると、在宅サービスは12,020円、施設・居住系サービスは8,926円と、ともに愛知県及び全国に比べて低くなっています。

また、調整済み第1号被保険者1人当たり給付月額をみると、在宅サービスは10,392円と愛知県及び全国よりも低く、施設・居住系サービスは9,517円と愛知県よりも高く、全国より低くなっています。

図表15 第1号被保険者1人当たり給付月額（全国・愛知県との比較）

単位：円

区 分		合 計	在宅サービス	施設・居住系サービス
第1号被保険者1人 あたり給付費 (令和4年)	全 国	23,293	12,351	10,942
	愛知県	21,520	12,229	9,291
	愛西市	20,946	12,020	8,926
調整済み 第1号被保険者 1人あたり給付費 (令和2年)	全 国	20,741	10,786	9,955
	愛知県	20,051	10,893	9,158
	愛西市	19,909	10,392	9,517

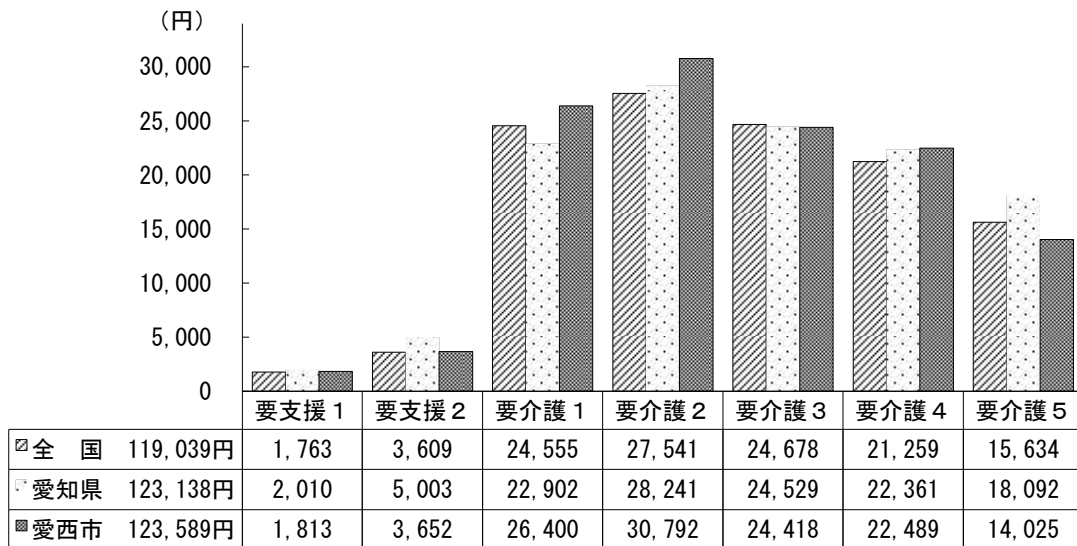
注：「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは給付費の多寡に大きな影響を及ぼす、「第1号被保険者の性・年齢構成」と「地域区分別単価」の影響を除外した給付月額

資料：地域包括ケア「見える化」システム（令和5年7月4日取得）

(2) 受給者1人当たり在宅サービス給付月額

愛西市における令和4年度の受給者1人あたり給付月額費をみると、123,589円で、全国、愛知県よりやや高くなっています。介護度別にみると、要介護1・2・4において全国および愛知県を上回っています。

図表16 受給者1人当たり在宅サービス給付月額の状況



資料：地域包括ケア「見える化」システム（令和5年7月4日取得）